

会 議 録

会議の名称	令和3年度清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和3年11月24日(水) 午後2時～午後3時30分
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議 題	1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 協議 (1) 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進 (2) 清須市保健事業 (3) 新型コロナウイルス感染症対策 4. その他
会議資料	会議次第 令和3年度清須市健康づくり推進協議会名簿 健康づくり推進協議会設置要綱 資料1 清須市の現状(健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進) 資料2 令和3年度ひきこもり支援ネットワーク会議(報告) 資料3-①～③ 清須市保健事業 資料4 新型コロナウイルス感染症対策
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	鬼頭委員、加藤委員、宮田委員、時田委員、山内委員、西川委員、田中委員、佐橋委員、伊藤委員、入山委員、波多野委員、土屋委員、片山委員、小出委員、片岡委員(代理)
欠席委員	なし
事務局	加藤健康福祉部長 [健康推進課] 寺社下課長、幸村課長補佐兼成人保健係長、坂下課長補佐兼母子保健係長、舟橋課長補佐兼健康増進係長、小崎庶務係長 [高齢福祉課] 介護予防係加藤主任主査
会議の経過 1. あいさつ ●加藤福祉部長(部長挨拶) 2. 委員の紹介 ●事務局 お手元の清須市健康づくり推進協議会委員名簿をご覧ください。この委員会は、15名で構成されております。今年度からの新たな委員は、学校PTA代表の西川淳子様、女性の会の田中祥子様、食生活改善推進協議会代表伊藤千里様、清須保健所長片岡博喜様の4名が前年度の委員に代わり、今年度委員としてお引きうけいただきました。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは3協議に入ります。議事進行につきましては、昨年度に引き続き、鬼頭会長、議事進行をお願いいたします。	

●鬼頭会長〈会長挨拶〉

3. 協議

〈資料に沿って説明〉

- (1) 健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進(資料1・2)
- (2) 清須市保健事業(資料3)
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策(資料4)

鬼頭会長：ただいま事務局から健康日本21清須計画(第2次)と清須市自殺対策計画の概要、啓発方法、保健事業等について説明がありましたが、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

加藤副会長：コロナ対策のことも含め今後複数保健事業をやらなくてはいけないですが、特定健診は来年から集団健診を再開しますか。

事務局：がん検診と合わせ集団健診を行います。がんの集団検診の枠を少なくして感染予防をして実施していきます。

加藤副会長：集団健診の枠はこの人数で大丈夫ですか。

事務局：これ以上増やすと密になるので、個別検診実施の医療機関にご協力をいただき、健診を受けていただけるよう促していきます。

鬼頭会長：ほかにご質問はありますか。委員の皆様は様々な活動をされている方も多くおみえになると思いますが、このコロナ禍での活動もかなり制限されたのではないのでしょうか。この計画の冊子の9ページ「めざせ！こころもからだも元気なまち 清須」の重点ポイントにある「人とつながろう」や、冊子後ろの方にあります「清須市自殺対策計画」の12ページには「声を掛け合い、孤立させない地域のつながり」が基本理念としてあります。人とのつながりが難しいこのコロナ禍での皆様の活動について、お話を伺えればと考えております。どなたか発言をお願いします。

佐橋委員：自殺者についての意見です。新聞によると男性よりは少ないが、女性の自殺者が増加していると書いてあります。その原因は何かを皆さんに伺いたい。新聞によると、自殺者は非正規職員が多らしく、理由は簡単に解雇されるということがあります。行政も女性の自殺が増えていることを研究して欲しいと思います。実際、私も女性は簡単に解雇されるということを聞いたことがあります。

鬼頭会長：貴重な意見をありがとうございます。これもコロナの影響かと思えます。他に意見はありますか。社会福祉協議会では、さまざまなグループの支援をしていますが、コロナ禍で活動が制限される中、工夫しながら活動したような情報があれば、発言していただければか。

時田委員：社協としては、コロナの生活支援特別貸付の窓口を開設しています。実際、貸し付けは1,100人くらいで、貸付金額は清須だけで3億円を超えています。食品の関係では、フードドライブ事業を実施して食品の寄付を募り、困っている人や貸し付けの人にもお渡ししています。コロナ禍では地域の様々な活動が中止となっておりますが、高齢者の方は皆さんと会えないと聞いています。マスクなどを持って訪問をしてプレゼントするという活動をしているグループや、コロナ前は講師と一緒に実施していた体操をDVDにしてそれを視聴し感染対策をしながら活動しているグループもあると聞いています。

鬼頭会長：コロナの影響で、会の活動が制限されていますが、どのようなことを工夫して食生活改善推進員活動をされているかご発言いただければか。

伊藤委員：緊急事態宣言下の時は調理実習ができませんでしたが、10月からは活動を再開

しました。市民への講座で調理実習をしながら楽しくやっており、11月には親子向けの教室が開催でき、8組の参加がありましたが、会食はできず持ち帰っていただきました。一緒に作って食べながらお話をすることができなので、寂しい状況です。

鬼頭会長：地域で子どもたちの成長をPTAとして見守って頂いておりますが、コロナ禍で子ども達も今までとは異なる生活を余技なくされています。子どもたちの生活、心の健康などお気づきになったことがありましたらご発言いただけませんか。

西川委員：学校行事が大打撃を受けています。親が学校に行けない状況が長く続いているため、学校によって全く対応は異なります。間近で親が子どもの学校での様子を確認できなかったのが、今後、そういったことをアイデアを出し合って親が確認できるようになればと思います。うちの子ですが、コロナが出だしたころから自宅での生活が続いたため、友達に会うのが怖い、学校に行きたくない等精神的に不安定な時があり、明るい子なのに性格が変わり、親として不安になり悩みました。頼るところ、相談できるところ、地域で心のケアができる場所があると安心だと先ほどの事務局の説明を聞いて感じました。また、少し体調が悪くても学校を休まなくてはならず、そうすると親も仕事を休まないといけない状況になるので、その支援を充実して欲しいです。

宮田委員：世の中がエビデンスのない情報で動いてしまい、トイレットペーパーや解熱剤等特定の物が買い占められ店頭からなくなってしまいう現象がありました。確実な情報を皆さんに伝えていきたいです。解熱剤に関して、予防接種後の発熱とウイルスに感染しての発熱では薬の禁忌が異なります。

加藤副会長：全くその通りです。冷静にみなさんに対応していただきたいです。

山内委員：高齢者のストレスも大きかったが、10月以降少しずつ行事もできるようになりました。少しはストレスも解消になるのではないかという状況になっています。

田中委員：女性の会は、生涯学習課の指導をいただき、3年間、“こころも体も元気なまち清須”ということで、県でも勉強した成果を出させていただきました。食・運動・歌、声を出すことは元気のもとです。コロナ禍ではプリントで各自勉強し、会えない分、せめて何かでつながろうとしています。女性の会の会員はつながりますが、課題として若い方にも女性の会を知っていただき入っていただきたいです。

入山委員：体操の教室を行っています。介護・認知症予防を中心に行いたいですが、成果を図る物差しが何かあればと思案中です。体操ばかりではなく他のことも行い高齢者に楽しんでいただける場を設けており、機会があればそのような場を広げていきたいと思っています。

波多野委員：母子保健推進員は訪問し、お母さんや赤ちゃんにお会いしますが、コロナ禍では訪問ができず、電話で様子を聞いて健康推進課に報告しており、寂しい思いをしました。訪問して赤ちゃんを見せていただいたり、抱っこさせていただいたり、お母さんとお話しさせていただくことはとても幸せなことです。また、最近地図に掲載もなく、表札もない家が増えており、訪問先の場所が不明な場合は健康推進課で確認してもらい訪問しています。母子健康手帳は日本発祥で、世界中では33か国でしか使用されておりません。またその全国大会には紀子様もご出席されています。15年間母子保健推進員を続けておりますが尊く素晴らしい仕事に携わることができ幸せです。

土屋委員：わが社では、医薬品を医療機関に卸す業務を行っております。このコロナ禍において従業員の健康が大切と実感しました。集いで健康づくりの何かをするこ

とが今は難しいので、ポスター掲示をして啓発をしています。目に見えないストレスを抱えている人もいるので、毎年ストレスチェックを行い、何がストレスになっているかの傾向を見て、ストレスをなくすような業務体制を話しながら作り上げていくという状況です。

片山委員：スポーツ推進員ですが、コロナ禍でスポーツ推進ができませんでした。やっとこの日曜日に300人が2コースに分かれてのウォーキング大会を開催することができ、皆さんに喜んでもらい良かったです。来年、運動会等を開催することができたら、過去2年間開催されておらず引継ぎが何もできてない状態なため、きちんと運営ができるかどうか心配です。皆さん、ご協力をお願いいたします。スポーツクラブですが、スポーツに来るだけでも特に高齢者にとっては良いことで、健康につながります。

小出委員：清須市及び春日の子ども会の役員を行っています。2年間、ドッチボール大会や運動会などの子ども会活動ができませんでした。子どもが公園で遊ぶ姿をみることもありませんでしたが、緊急事態宣言が明けてからすごい笑顔で子どもが遊ぶ姿を公園でみかけます。以前の様子にやっと戻って来たと思っています。早く落ち着いた生活ができることを願っています。

保健所：日頃は保健師の行政、特に新型コロナウイルス感染症に関しては多大なるご指導ご支援をいただき感謝しています。第5波では自宅療養が約500件以上、一日の発生が80件を超える日々が数日あり、自宅療養で亡くなる方を阻止したい思いで職員一丸となり取り組んできました。

私は8年前、県の計画策定に担当しておりました。新計画では、目指すべき姿、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が大きなテーマでスタートしました。健康づくりに関心がない、時間がなくて取り組みにくい人に取り組みやすい環境を作っていくことを目指して来ました。本日の皆さんの意見から、清須市の健康の推進のためにいろいろな立場から関わっておられ、熱い思いで取り組んでいるのがわかりました。市のスローガン「声を掛け合い、孤立させない地域のつながり」というのは、まさに健康格差を生じさせないというスローガンであり、私たちに求められていることであると思います。しかし、地道に取り組んできたこの取り組みも、2年近く市民の生活に影響していると感じています。県全体でも健診の受診率の低下がみられています。国民栄養調査も2年中止になっており、運動習慣や野菜の摂取量にも影響があると推測しています。

本日話題になりました自殺者は右肩下がりで減っておりましたが、昨年自殺者が増えました。増減率でみると20歳未満の若い女性の自殺が増えてきており深刻にとらえなくてはいけないと考えています。メンタルクリニックに通う子供も非常に増えています。女性と子ども、生活困窮の方、格差の広がりがこの2年で大きくなっているのではないかと思います。

こういった中、これからの健康づくりもメール支援やオンライン活動を含め手法を変えていく必要があると思います。個人と家族だけではなく、地域力をもう一度作っていくことが改めて大切と感じています。計画にむけて保健所も一緒に行動していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

鬼頭会長：ありがとうございます。これで協議を打ち切らせていただきます。

事務局：鬼頭会長、加藤副会長ありがとうございます。

大変貴重なご意見、ご要望ありがとうございました。

なお、本日のご意見、ご要望等につきましては、次回の会議でご報告申し上げますのでよろしくお願いいたします。

次に、次第4その他につきまして、連絡させていただきます。

4. その他

●事務局

〈資料に沿って説明〉

参考資料：清須市歯と口腔の健康づくり推進条例（案）について

事務局：委員の皆さんの任期が2年ということで、今年度で終了となりますが、引き続きご依頼させていただきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。
来年度の健康づくり推進協議会は、秋ごろの開催をと考えております。内容につきましては、健康日本21清須計画及び清須市自殺対策計画の推進状況、についての報告などを予定しております。
それでは、本日の議事はすべて終了いたしました。
これをもちまして、令和3年度清須市健康づくり推進協議会を閉会いたします。
本日は、長時間にわたりご審議を賜りまして、ありがとうございました。
以上で終了とさせていただきます。

閉会：午後3時30分

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 電話 052-400-2911 内線2111

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和3年12月24日

署名委員 伊藤 千里

令和3年12月24日

署名委員 入山 八三郎